HOKKAIDO UNIVERSITY

| | |
|---|---|
| Title | 北海道大学映像・現代文化論学会彙報 |
| Citation | 層 : 映像と表現, 12, 189-191 |
| Issue Date | 2020-03-10 |
| Doc URL | https://hdl.handle.net/2115/76907 |
| Type | other |
| File Information | gakkai_ihou.pdf |

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

## 北海道大学映像・現代文化論学会　彙報

（肩書きの記載のないものは、映像・現代文化論研究室教員）

◎主催　北海道大学大学院文学研究院
　映像・現代文化論研究室

◆映像・現代文化論講演会

◎日程　二〇一九年五月九日（木）五校時
　一六時三〇分～一八時
◎会場　北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟
　W三〇八教室

「日本における映画アーカイビングの問題点」
　講師　京都大学教授　ミツヨ・ワダ・マルシアーノ
　司会、講師紹介　小川佐和子

◆映像・現代文化論講演会

◎日程　二〇一九年六月一一日（火）五校時
　一六時三〇分～一八時
◎会場　北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟
　W四〇九会議室

「日本の映画理論をなぜ読むべきなのか」
　講師　イェール大学教授　アーロン・ジェロー（Aaron Gerow）
　司会、講師紹介　小川佐和子

◆第三回　北海道大学映像・現代文化論学会大会

◎日程　二〇一九年一一月九日（土）一〇時～一七時三〇分
◎会場　北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟
　W四〇九会議室

《プログラム》

　総合司会　水溜真由美
・開会の辞　中村　三春

○研究発表
宮澤賢治「春と修羅」論
　――光、歩み及び詩の構造の関係性を中心に

博士後期課程　クジェル・イジー
司会　博士後期課程　中村　建

ジョン・カサヴェテス『アメリカの影』における
演出理論と身体表現
博士後期課程　堅田　諒
司会　博士後期課程　黄　也

タル・ベーラ監督の映画空間について
――初期の映像作品を中心に
博士後期課程　モルナール・レヴェンテ
司会　修士課程　崔　文婕

ゲームサウンドの地域コンテンツとしての可能性
――『ポケットモンスター　赤・緑』を中心に
博士後期課程　杉本　圭吾
司会　博士後期課程　酒井駿太郎

言葉を撮る
――王兵『鳳鳴―中国の記憶』における
証言とフィクションについて
博士後期課程　朱　偉
司会　博士後期課程　龔　金浪

○講演
九〇年代スピルバーグと「リアル」の変容
――『ジュラシック・パーク』論
早稲田大学教授　藤井　仁子
講師紹介　小川佐和子

・閉会の辞
応　雄

◆活動写真弁士　片岡一郎氏実演会

◎日程　二〇二〇年一月一〇日（金）五校時
一七時～一八時三〇分
◎会場　北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟
W二〇一／W二〇二研究室

《次第》
前説
演目・時代劇　マキノ正博監督『血煙高田の馬場』（一九三七）

・アニメーション　紙フィルム『スタコラサッチャン大手柄』（昭和初期）
・現代劇　小津安二郎監督『大学は出たけれど』（一九二九）
・コメディ　バスター・キートン『キートンの文化生活一週間』（一九二〇）
トーク（司会　小川佐和子）
質疑応答